

2019年入試予測【東京23区 男女校】

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
九段中等教育(公立中高一貫校)	千代田区	選抜の変更点はなし。人気に変化はなく、区分A Bとも例年並みの難度になりそう。
開智日本橋	中央区	2015年に共学化した学校で、高い人気が続いている。A C・L C・D L C・G L Cの4コース制から、一番入りやすいA Cの募集を停止して3コース制に移行する。高い人気で難化が続いてきたため、入りやすいコースの募集を停止したもの。また、2月1日午後の特待入試を4科から4科と算数1科の選択に変更、帰国生入試の日程も曜日の関係で変更する。こうした動きにもかかわらず、模試では男女とも希望者が増えている。各回次とも1ランク高い難度になりそうで、やや力不足気味では合格がかなり難しくなると思われる。要警戒校。
慶應中等部	港区	入試の変更点はなし。2019年に向けても人気が高く、模試では高学力の希望者が増加傾向。すでに高難度なので、さらに難化することは考えにくいのが、厳しい入試が続くことは確か。
広尾学園	港区	国際生入試の日程が1日前倒しになるが、入試情勢には影響なし。難関・上位校グループにしっかり定着したためか、模試での希望者数には特に目立つ動きは見られない。各回次とも少なくとも2018年並みの難度が続くと考えて準備した方がよい。
東海大高輪台	港区	入試の変更点はなし。附属カラーが大変強い学校。模試では、男女とも希望者が少し増えているが、難化するほどではない。各回次とも、2018年とあまり変わらない難度になりそう。
目白研心	新宿区	入試の一部に変更はあるが、模試では目立った希望者数の変化は見られず、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
東洋大学京北	文京区	2018年に2月4日から1日午前に移した思考表現入試を再び4日に戻すほか、1日午後の2回を2科から2科4科選択とするなどの変更がある。共学化・校名変更で人気上がり、難化してから4年目だが、模試では希望者が目立って増えており、学力上位の希望者も散見される。各回次とも少し難化するかもしれない、注意が必要。
駒込	文京区	2月1日午前午後、2日午前とも2科4科選択・適性検査型・2科+英語などがすべて選択できるようになるほか、2日午後には特色入試としてSTEM入試(算数+アルゴリズム+プログラミング)と課題自己表現入試の選択を実施するなどの変更がある。模試では希望者数に特に目立つ動きは見られない。各回次とも、2018年並みの難度が続くそう。
郁文館	文京区	適性検査型で検査Ⅲを必須とするほか、2月2日午後のG L特進入試で理社の選択も可能にするなど、入試の重量化を柱とする変更がある。応募者がやや増えている模試もあるが、難化するほどではなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
貞静学園	文京区	小規模な入試の学校。入試の一部変更はあるが人気に動きは見られず、2018年とあまり変わらない入試になりそう。
東邦音大東邦	文京区	入試の変更点はなし。小規模な入試の学校。2018年と同じような入試になりそう。
筑波大附属(国立)	文京区	入試の変更点はなし。模試の希望者が増加傾向で、特に女子で学力上位の希望者が目立っている。もともと高難度で、改めて難化することはなさそうだが、厳しい入試が続くそう。注意した方がよい。
お茶の水女子大附属(国立)	文京区	入試の変更点はなし。模試での希望者数に目立つ動きは見られず、2018年並みの難度になりそう。
学芸大竹早(国立)	文京区	入試の変更点はなし。模試での希望者数に目立つ動きは見られず、2018年並みの難度になりそう。
小石川中等(都立中高一貫校)	文京区	入試の変更点はなし。都立中高一貫校の最難関。女子の人气がさらに上がっているようで、女子はやや難化すると思った方が良さそう。男子は2018年並みの難度になりそう。
上野学園	台東区	小規模な入試の学校。入試の一部変更はあるが人気に動きは見られず、2018年とあまり変わらない入試になりそう。
白鷗高附属(都立中高一貫校)	台東区	2018年から海外帰国生・在留外国人の枠を設けていて、帰国生や、帰国生と一緒に学び、グローバル対応の教育を求める受験生の関心が高くなっている。難化すると決まったわけではないが、注意した方がよい。
両国(都立中高一貫校)	墨田区	選抜の変更点はなし。人気も変化は見られない。高倍率の入試が続く学校で、例年同様に厳しい入試になりそう。
安田学園	墨田区	2月2日午前の適性検査型先進特待で検査ⅠⅡからⅠⅡⅢに科目を変更、各回次の定員配分も一部変更するが、入試情勢への影響は大きくない。模試では中堅の学力層の男子の希望者が少し増えているが、難化するほどではない。各回次とも2018年並みの難度になりそう。
日大第一	墨田区	入試の変更点はなし。模試では男子の希望者の増加が目立つ。各回次ともやや難化するかもしれないので、注意した方がよい。
かえつ有明	江東区	グローバル対応教育で特に帰国生に人気が高い学校。2019年は帰国生入試の日程を一部前倒しとし、1月26日の入試を廃止するほか、一般入試でも2月4日の入試を廃止して思考力入試の内容ごとの実施日程を見直すなどの変更がある。模試では中堅の学力層の希望者が少し増えているが、高い人気を背景に難化が進んでいることもあって、各回次とも少なくとも2018年並みの難度、場合によっては若干難化するかもしれない。注意が必要。

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
青稜	品川区	入試の変更点はなし。模試では、特に併願前提の男子の希望者の増加が目立つが、女子の希望者も少し増えている。もともと併願受験生も多いことから、大きく難化することは考えにくいですが、各回次ともやや難化するかもしれないと考えておいた方がよい。
文教大付属	品川区	入試の変更点はなし。模試では男子の希望者が少し増えているが、難化するほどではない。日出が目黒日大になって併願を考える受験生も出ていて、実際の入試では同校の影響を受けることも考えられるが、各回次とも2018年並みの難度が続くと考えて準備した方がよい。
八雲学園	目黒区	2018年から共学化した学校。各回次の定員配分を見直すが、大きな変更ではない。模試では男子の希望者の増加が目立つが、難化面では各回次とも、やや難化するかどうか、といったところ。
目黒日大(現・日出)	目黒区	2019年から日大の準付属校となって、校名を目黒日大に改称。算数入試の新設や2月5日午前午後の入試を統合して4日午後に移すなどの変更点がある。男女とも関心が高い受験生が多く、模試では希望者数が大きく増えている。都内の日大系列校との併願希望者も見られるが、日吉の日本大学との併願希望者が目立っていて、中堅レベルの学力層の希望者が多く、今までの同校からみれば信じられないくらいに難化すると予想される。
多摩大目黒	目黒区	入試の変更点はなし。模試の希望者数は男女とも目立つ動きは見られない。日出が目黒日大になって併願を考える受験生も出ていて、実際の入試では同校の影響を受けることも考えられるが、各回次とも2018年並みの難度が続くと考えて準備した方がよい。
日本工大駒場	目黒区	入試科目などに一部変更が見られるが、入試情勢に影響はない。人気は特に変わらず、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
目黒学院	目黒区	入試科目などに一部変更が見られるが、入試情勢に影響はない。人気は特に変わらず、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
桜修館(都立中高一貫校)	目黒区	選抜の変更点はなし。高い人気に変わりはなく、2019年も高倍率で例年並みの難度になりそう。
立正大付属立正	大田区	特待入試を2月4日午前から2日午前に移すとともに、適性検査型でも特待を出すほか、英語選択可能な入試を1日午前午後拡大する。模試での希望者数に目立つ動きは見られない。日出が目黒日大になって併願を考える受験生も出ていて、実際の入試では同校の影響を受けることも考えられるが、各回次とも2018年並みの難度が続くと考えて準備した方がよい。
清明学園	大田区	入試日程に変更はあるが、小規模な入試の学校で、2018年と同じような入試になりそう。

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
東京都市大等々力	世田谷区	S特選・特選・特進の3コース制だったが、一番入りやすかった特進コースの募集を停止する。この他にも一部の入試に変更がある。2019年は特進コースの募集停止で1日午前・2日午前・3日午後は少し難化すると思われる。模試では1日午後のS特選入試や3日午後で希望者が少し増えているが、2日午後も含めてS特選入試は2018年並みの難度だと思われる。4日午前のアクティブラーニング入試や英語入試はその性格上、難度はあまり変わらないと思われる。
三田国際学園	世田谷区	メディカルサイエンステクノロジークラスを新設、2月3日午後の入試を同クラス専用の算数と理科の2科目入試に変更するほか、1日午後の本科の入試を算数1科に変更、インターナショナルコースの入試は英語実施回を2日午後と4日午後とするなどの変更がある。急速に難化が進んでいて、模試では学力上位の希望者が増加傾向、中堅の学力層の希望者は減ってきている。メディカルサイエンステクノロジーの入試は、2018年の各回次より少し難化しそう。他のクラスも少なくとも2018年並みの難度で、やや難化する可能性もある。
東京農大第一	世田谷区	入試の変更点はなし。模試での希望者数にも目立った変化は見られず、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
成城学園	世田谷区	定員配分を少し見直が、入試情勢への影響はない。模試では男子は高学力の、女子は中堅の学力層の希望者が増加傾向だが、距離的には近い場所に開校するドルトン東京学園に関心を示す受験生も見られる。難化するかどうかは微妙なところだが、1・2回とも少し難化するかもしれないと考えて準備した方がよさそう。
松蔭	世田谷区	入試科目などに一部変更が見られるが、入試情勢に影響はない。人気は特に変わらず、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
国士舘	世田谷区	入試科目などに一部変更が見られるが、入試情勢に影響はない。人気は特に変わらず、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
学芸大世田谷(国立)	世田谷区	入試の変更点はなし。学芸大系列各校の人気が沈静化していることもあり、以前よりも応募者は減っているが、模試で学力上位の希望者が増えている。ただ、必ずしも志望順位が高いわけではないので、来春の同校が難化するかどうかは微妙なところ。難化するかもしれないと考えて準備しておいた方が良い。
渋谷教育渋谷	渋谷区	入試の変更点はなし。模試では高学力の男子の希望者が少し増えている。女子も希望者が増えている。各回次とも、2018年並みの難度か、若干難化するかもしれないと考えて準備した方が良い。
青山学院	渋谷区	入試の変更点はなし。男女とも模試の希望者が増えている、しかも学力上位の希望者が目立つ。このまま推移すると2019年は難化するので要注意。

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
宝仙学園理数インター	中野区	2月3日午後の4科の特待入試を廃止し、1日午後と4日午後に関分野で全国レベルの実績を持つ受験生を対象としたAAA入試と、1日後に英語アクティブラーニング入試を新設するなどの変更がある。入試が極めて多彩で、1つずつの入試の募集定員が少なく、さらに偏差値に馴染まないものも多いことから、模試の希望者数だけで人気を測ることはできないが、受験生の関心は高い様子。4科の入試や適性検査型はやや難化するかもしれない。
実践学園	中野区	入試の一部に変更はあるが、模試では目立った希望者数の変化は見られず、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
新渡戸文化	中野区	小規模な入試の学校。2月3日に入試を新設するが、人気にあまり変化は見られず、2018年とあまり変わらない入試になりそう。
東大附属(国立)	中野区	入試の変更点はなし。双子の研究なども行う独特な存在で、人気はあまり変わっていない。2018年並みの難度が続くそう。
富士高附属(都立中高一貫校)	中野区	選抜の変更点はなし。人気に目立った変化はなく、難度は2018年並みになりそう。
国学院久我山	杉並区	帰国生入試の日程を変更するが入試情勢に影響はない。模試では、男子部・女子部ともに2月2日午前の2回で学力上位の希望者が少し増えている。併願前提の希望者と思われる。難化するかどうか、といったところ。他の回次は午後入試のST選抜も含め、目立つ希望者の動きは見られない。各回次とも2018年並みの難度が続くそう。
文化学園大杉並	杉並区	2018年から共学化した学校。日本とカナダ両方の高校卒業資格を取得できる「ダブルディプロマコース」が特色。2月1日午前の2科4科選択入試を2科のみとし、2日午前の適性検査型を廃止、英語特別入試を4日午前から3日午後に移すなどの変更がある。模試では男女とも希望者が増加傾向だが、難化するほどではなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
日大第二	杉並区	入試の変更点はなし。模試では2月1日の1回で学力上位の男子の希望者が少し増えているが、難化するほどではなさそう。女子と3日の2回の男女は目立つ希望者の変化は見られず、2018年並みの難度になりそう。
東京立正	杉並区	入試の変更点はなし。小規模な入試の学校。人気に変化は見られず、2018年と同じような入試になりそう。
淑徳巣鴨	豊島区	帰国生入試の日程を曜日の関係で1日前倒しにするほか、2月1日午後のS選抜1回で英語選択を取りやめるが、入試情勢に影響する変更ではない。模試では中堅の学力層の希望者が増加傾向。選抜入試の各回次はやや難化するかもしれない。S選抜の各回次は2018年並みの難度だと思われる。

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
城西大城西	豊島区	帰国生入試の日程を変更するが、入試情勢への影響はない。模試では希望者数に目立った動きは見られず、各回次とも2018年並みの難度になると思われる。
順天	北区	帰国生入試の日程を曜日に合わせて1日前倒しにするが、入試情勢に影響する変更ではない。模試では希望者数に目立った動きは見られず、各回次とも2018年並みの難度になると思われる。
桜丘	北区	2回実施していた帰国生入試を一本化するとともに、2月1日午後で2科4科選択入試の他に算数と英語インタビューの入試も選択可能にする。模試では希望者数に目立った動きは見られず、各回次とも2018年並みの難度になると思われる。
東京成徳大	北区	帰国生入試の日程を変更するが、入試情勢への影響はない。模試では希望者数に目立った動きは見られず、各回次とも2018年並みの難度になると思われる。
成立学園	北区	小規模な入試の学校。人気に目立った動きはなく、2018年とあまり変わらない入試になりそう。
駿台学園	北区	小規模な入試の学校。人気に目立った動きはなく、2018年とあまり変わらない入試になりそう。
武蔵野	北区	小規模な入試の学校。人気に目立った動きはなく、2018年とあまり変わらない入試になりそう。
淑徳	板橋区	2月3日午後の東大セレクト2回と2日午後のスーパー特進2回を入れ替える。模試では東大セレクトは1日午後の1回を中心に、スーパー特進は日程が移った2回を中心に、希望者が少し増えている。以前に比べると難化した学校だが、併願受験生が多いこともあり、両コースの各回次とも2018年並みの難度が続きそう。
帝京大帝京	板橋区	入試の変更点はなし。模試では希望者数に目立った動きは見られず、各回次とも2018年並みの難度になると思われる。
学芸大国際(国立)	練馬区	入試の変更点はなし。国際バカロレアの中等教育プログラム実施校。注目度は高いが、その特殊性もあって、2018年並みの難度になりそう。
大泉高附属(都立中高一貫校)	練馬区	選抜の変更点はなし。人気は例年通り高く、難度は2018年並みになりそう。
共栄学園	葛飾区	2月2日午前の入試を2科4科選択から2科とし、4日の入試を5日にするなどの変更があるが、模試では希望者数に変化が見られない。各回次とも2018年並みの難度になりそう。
修徳	葛飾区	小規模な入試の学校。人気に特に変化はなく、2018年のような難度の入試になりそう。